

資料3 依頼文 2017年10月

診療科 担当者様

診療科 責任者様

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究班  
(研究代表者: 慶応義塾大学医学部小児科講座教授 長谷川奉延)  
研究分担者 棚橋 祐典(旭川医科大学小児科学講座)

「2003年1月1日～2007年12月31日(5年間)の全国疫学調査における  
21水酸化酵素欠損症に関する追加調査」のご協力をお願い

謹啓

皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

2003年1月1日～2007年12月31日(5年間)の患者様を対象に行われた、副腎ホルモン産生異常症の全国疫学調査(二次調査)(研究代表者 旭川医科大学小児科 前教授 故 藤枝憲二)へのご協力をいただきありがとうございました。この度、本調査における21水酸化酵素欠損症に関し、未解決な重要な事項(小児科から成人科へのトランジション、出生前診断・治療の現状、合併症等)につきまして実態把握のため、追加調査を行わせていただくことになりました。

調査対象は、2003年1月1日～2007年12月31日(5年間)の全国疫学調査における21水酸化酵素欠損症の二次調査にご回答いただいた対象者です。2003年1月1日から2016年9月30日までの診療録により、同封の調査票にご記入をお願い申し上げます。調査票右上に、以前の二次調査でご回答いただいた連結可能情報を記入しておりますので、それぞれ該当の調査票をご使用ください。また、同封の「他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録」についてもご記入いただきご返送いただくとともに、その写しを貴院で保存いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

可能な範囲でご記入いただき、2017年12月末日までにご返送いただきますようお願い申し上げます。

個人票の記載内容に関しましては、実態把握のためのみ使用し、個人の秘密は厳守します。

なお、本調査は旭川医科大学の倫理委員会の承認(承認番号 10169)および研究班全体として慶応義塾大学医学部の倫理委員会の承認を得て実施しております。本研究は、匿名化された既存情報のみを医療機関より収集して行う観察研究であり、研究対象者からインフォームド・コンセントを受けることを省略し、本研究の目的を含む実施についての情報は旭川医科大学倫理委員会ホームページを通じて公開しております。

先生方には多大なご負担をおかけすることとなり、誠に恐縮でございますが、本調査につきまして何卒ご協力下さいますようよろしくお願い申し上げます。

本件に関しましてご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

謹白

〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学小児科

棚橋 祐典

電話: 0166-68-2481

FAX: 0166-68-2489

yutanaha@asahikawa-med.ac.jp